

ニュース

【令和3年10月以降の稽古について】

9月末で新型コロナ緊急事態宣言等が解除になり、長崎でも各施設の利用が再開されるようになりました。しかし、解除されたばかりですし、リバウンドのおそれがあります。

さらには第6波も予想されていますので、まだまだ気を緩めるわけにはいきません。

北星館は岩屋中学校を中心に活動していることもあり、感染防止には非常に気を使っています。

このため、10月の稽古も引き続きお休みとさせていただきます。

稽古再開を楽しみにしている皆様には申し訳ありません。

会員投稿

吉田さんからの投稿です

前回、映画A I K I (アイキ)についてふれましたが今回もこのネタです。

車椅子の状態でも有効な技を出せるのか？ 誰もが抱く疑問ですよ

およそ全ての技は、全身をうまく連動させないと有効な技にはならないと言えるでしょう。

合気道でもよく手を取らせた状態で技をかけることが多いですが、手だけで技を行っているのではありません。合気道では、丹田から起こした力(呼吸力)を腰、肩、肘、手を経由して相手との接触点に流し、相手の手から肘、肩、腰をとらえて崩します。

手は相手に一番近くにあり、最も接触しやすいところですが、逆に力の中心である丹田から最も遠いところにあり、途中の経路で力みがあれば、力の流れは途絶えてしまい、相手には届きません。

さて、本題に戻って、本当に椅子に座った状態からできるもののでしょうか？

これについて私が経験したことについて話したいと思います。

それは20年ぐらい前の有段者研修会での出来事でした。

その日、足の調子が思わしくなかった大先生が何を思ったか、弟子に椅子を持ってこさせ、椅子に座った状態で50名以上の研修会参加者に手を取らせました。

おそらく、椅子に座ってやるということは大先生も初めてのことでなかったのでしょうか。

ときに椅子がぐらつくことがありましたが、稽古をつづけられました。

大先生が「A i k i」という映画を知っていたかどうかを聞くことはできませんでしたが、実際に達人の技を経験することができました。

技はどうだったかって？ よく効いていました、いつも通りに吹っ飛ばされましたよ。

このことから、どのような状態でも技をかけることができるのだと知りました。

「やってやれないことはない やらずにできるわけがない」は、平櫛田中(ひらくし でんちゅう)という明治から昭和にかけての近代日本を代表する彫刻家の言葉です。

なににでもあきらめずにチャレンジすればできるようになるということを教えられましたね。

編集後記

新型コロナの新規感染者の数が落ち着いてきて、緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置が解除されていますが、警戒を一度に緩めるわけにはいかないですね。稽古再開の判断が難しいところです。

ここまで我慢してきたので、もう少しだけ様子を見ていいでしょう。皆さん、頑張ってください。